

2025 年度入学試験 理科 第 2 回

問 題		得点率 (%)	問 題		得点率 (%)	問 題		得点率 (%)	問 題		得点率 (%)
1	(1)	84.1	2	(1)	97.7	3	(1)A	96.6	4	(1)①	91.8
	(2)	51.5		(2)	91.6		B	95.0		②(i)	92.5
	(3)	84.7		(3)	98.9		(2)	90.9		(ii)	72.0
	(4)	69.7		(4)	93.2		(3)	64.7		(iii)	87.0
	(5)	66.1		(5)	18.2		(4)	62.6		(iv)	80.9
	(6)	57.4		(6)F	15.5		(5)	47.4		(v)	56.5
	(7)	55.4		G	18.7		(6)	94.3		(2)	54.2
		(7)①気体		35.3	(7)		46.2	(3)		79.3	
		残り		22.6	(8)		68.1	(4)①		82.2	
		②		19.1	(9)	41.9	②	21.9			
						③	15.2				

合格者最高点 75
合格者最低点 33

1 (物理分野) 電気とエネルギーの変換に関する問題です。

- (1) とてもよくできていました。
- (2) (1) に正解できていれば、選択肢をヒントにして解くことができます。
- (3) とてもよくできていました。
- (4) ～ (6) 題意を読みとり、[学習メモ] の法則性を適用する問題でした。
- (7) 時間が足りなくなってしまったのか無解答や四捨五入のミスが散見されました。

2 (化学分野) 気体に関する問題です。

- (1) とてもよくできていました。
- (2) 気体 E の性質を答える記述問題です。「重いから」と答えた場合は 2 点としました。何と比べて重いのかを答える必要があります。とてもよくできていました。
- (3) (4) とてもよくできていました。
- (5) 表から規則性を読み取り、情報を整理、計算をしなくてはならなかったもので、正答率は低くなりました。
- (6) (7) 時間が足りなくなってしまったのか無解答が目立ちました。

3 (生物分野) 植物に関する問題です。

- (1) 基本的な問題なので、得点源としてほしい問題です。とてもよくできていました。
- (2) (1) の値を用いて計算します。とてもよくできていました。
- (3) すべてを選択する問題ではありますが、概ねよくできていました。
- (4) 概ねよくできていました。
- (5) 「水が水蒸気になる」で 2 点、「植物体から熱を奪う」で 2 点加算しました。主語がなかったり、どこから熱を奪っているのが明記されていなかったりした場合は、加算点数を小さくしました。
- (6) とてもよくできていました。
- (7) 冒頭の会話文にヒントが含まれています。
- (8) 概ねよくできていました。
- (9) 昼間に気孔を閉じ、夜間に気孔を開くことから、昼間と夜間では蒸散に関する環境が変化すると考えられます。

4 (地学分野) 気象に関する問題です。

(1) 基本的な問題なので、得点してほしい問題です。

① 問題文の空欄の後ろに現象と入っているので、答えに現象をつけていた場合は不正解としました。

② フェーン現象の典型的な問題であり、概ねよくできていました。

(2) [学習メモ] にヒントがあります。

(3) 概ねよくできていました。

(4)

① よくできていました。

②、③ 気温と体積変化を考慮する必要があり、正答率は低くなりました。